



Under the huge mug.

MUSAKO ART GATE
September 11 - 15.

Center line art festival Tokyo 2025



Welcome to the huge mug !

ホールで上演される演目を鑑賞する人
ベンチに座ってのんびりする人、音楽やダンスの練習をする人
足早に通り過ぎる人、バスを待つ人
アートを楽しむ人。

小金井 宮地楽器ホールは全ての人たちに開かれた場所です。

いつもの場所、大きなマグカップの下で
今日も新しい発見や体験があなたを待っています。

現代アート × 舞台作品「Asleep ～眠りについて～」出演者募集

MUSAKO ART GATE に展示される同名の現代美術作品群を舞台として、ダンスや演劇、パフォーマンスが融合した舞台作品の創作・上演を予定しています。

本作品にご参加いただける方を、お子様からご年配まで、性別、国籍、経験の有無を問わず広く募集しております。

詳細・お申込みは以下 URL より特設サイトをご覧ください。

https://claft.jp/program/2025/mag_c

(市民作品詳細 QR)



Center line art festival Tokyo 2025 MUSAKO ART GATE

＜開催概要＞

会期 2025 年 9 月 11 日 (木)～15 日 (月・祝)
10 時開場 21 時閉場 (最終日は 17 時閉場)

会場 小金井 宮地楽器ホール
小ホール / マルチパーパススペース A / B / C / D /
市民ギャラリー / 和室

料金 無料 (小ホールのパフォーマンスのみ一部有料)

Access

小金井 宮地楽器ホール
東京都小金井市本町 6-14-45

(MAP QR)



Infomation

一般社団法人 Co-production of art Works-M
TEL 042-316-6103 FAX 042-316-6102
MAIL artfes.claft@gmail.com

Center line art festival Tokyo 2025

開催テーマ

「Release of Place / Body」

からだは常に場所に紐づいている
私の場所、あなたの場所、私たちの場所、彼らの場所

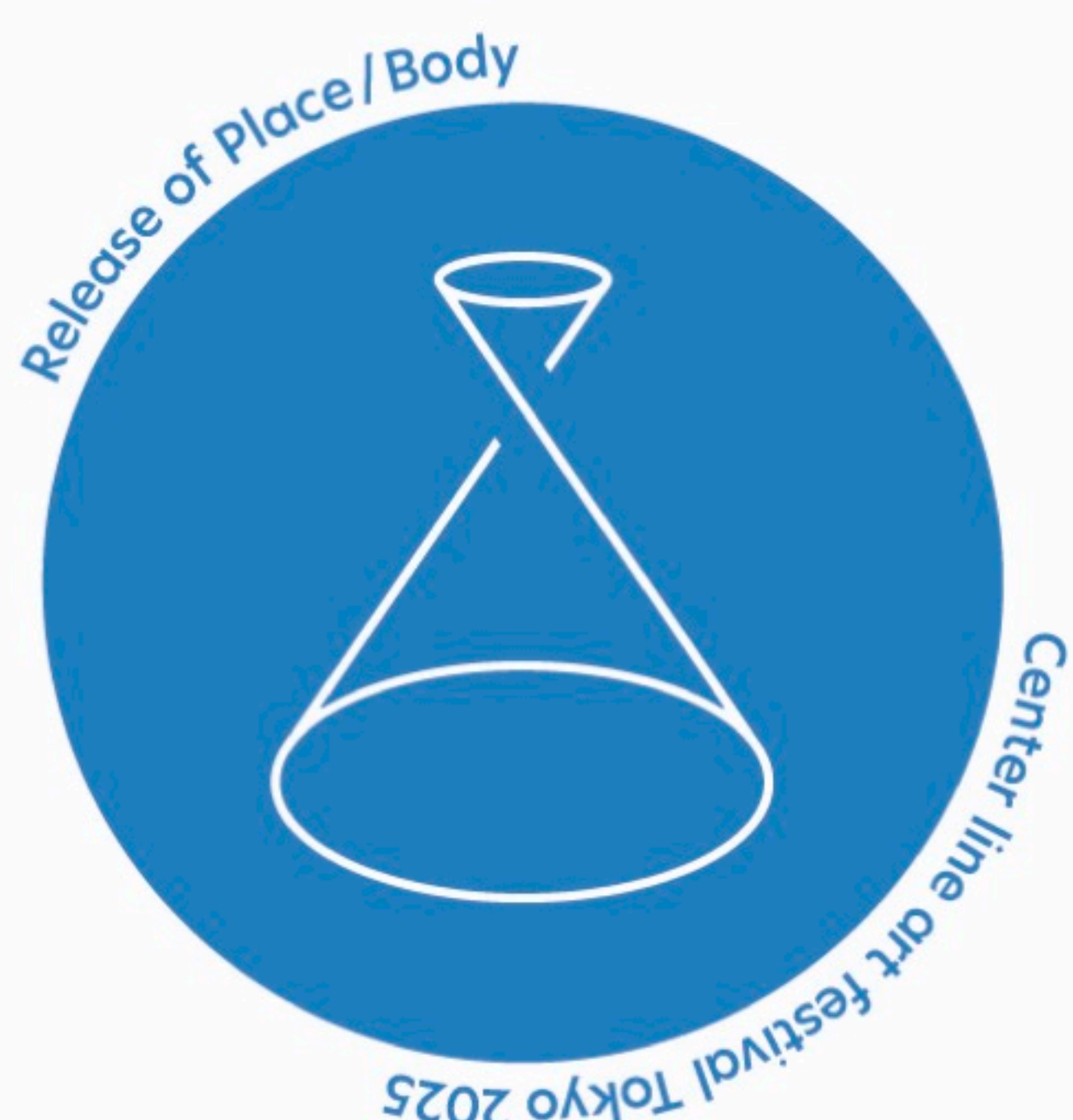
ひとつひとつのからだは、それぞれにひとつの場所を持っていて
時として、私たちはそれを共有しようと試みる

からだを解き放ち、場所をひらくため
それらを、越えて、分かち合うために

The body is always tied to place.
My place, your place, our place, their place.

Each body has one place of its own,
and sometime, we try to share it.

To release the body, to open the place.
To go beyond and share them.



About ClafT

Center line art festival Tokyo【ClafT】は人と街をアートで繋ぐ、回遊型アートフェスティバルとして 2021 年にスタートしました。毎年、フェスティバル開催にあたり「人・地域・世代を繋ぐ、芸術・文化の創造と発信のプラットフォーム」として、西東京・多摩地域における郊外文化を体系化してゆくとともに、都市から自然への文化のグラデーション化を図り、緩やかな繋がりを生み出してゆくことを目指しています。同時に、市民との共創によって地域社会と密接に関わりを持つ文化を創出し、東京の文化多層性と新たな魅力を世界に向けて発信してゆきたいと考えています。フェスティバル詳細は右下の URL・QR コードよりオフィシャルサイトをご覧ください。

Center line art festival Tokyo 2025

助成：アーツカウンシル東京〔地域芸術文化活動応援助成〕芸術文化振興基金助成事業〔超域的芸術創造活動〕

共催：小金井市民交流センター 指定管理者 こがねいしー共同事業体 / 小金井 宮地楽器ホール NPO 法人劇場創造ネットワーク / 座・高円寺

協賛：株式会社グラフィック 多摩信用金庫 / 認定：公益社団法人企業メセナ協議会

後援：奥多摩町 国立市 小金井市 国分寺市 小平市 杉並区 中野区 武蔵野市 プリティッシュ・カウンスル

協力：一般社団法人小金井市観光まちおこし協会 大久保園 株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン 株式会社ジェイアール東日本都市開発 水性 SOCOLA 武蔵小金井クロス

多摩観光推進協議会 東京学芸大学石井研究室 特定非営利活動法人国立市観光まちづくり協会 / 印刷協力：株式会社グラフィック

企画：中央線芸術祭実行委員会 / 運営：ClafT 事務局 ClafTers (市民ボランティアスタッフ) / 主催：一般社団法人 Co-production of art Works-M

アートで毎日が旅になる Center

line
art
festival
Tokyo

claft.jp



中央線芸術祭 2025

ARTS COUNCIL TOKYO



企業メセナ協議会
助成認定活動



ClafT



Under the huge mug.

～大きなマグカップの下で～

武蔵小金井駅南口を出て空を見上げると、目に映るのは大きなマグカップ。

その正体は小金井 宮地楽器ホールのデザインの基となっている「逆斜楕円錐」と呼ばれる建築構造です。大きなマグカップの下では毎日沢山のイベントが開催されていて、その内容によってカップに注がれる飲み物が変わってゆくかのよう。

時にはホットミルク、今日はコーヒー、それともスープ？

日々、色とりどりの飲み物を楽しむことが出来るマグカップ。

その大きなマグカップの下で、今年も Center line art festival Tokyo のメインプログラムとなる総合展示「MUSAKO ART GATE」が開催されます。

今年の「MUSAKO ART GATE」ではフェスティバルテーマ「Release of Place / Body」に則して、各スペースに異なるタイトルを冠し「環境」「都市」「メディア」「自然」「空間」をテーマとした現代美術作品の展示、インスタレーション、パフォーマンスを開催します。



Environment / Body

マルチパーパススペース A / B / C

「Environment / Body」

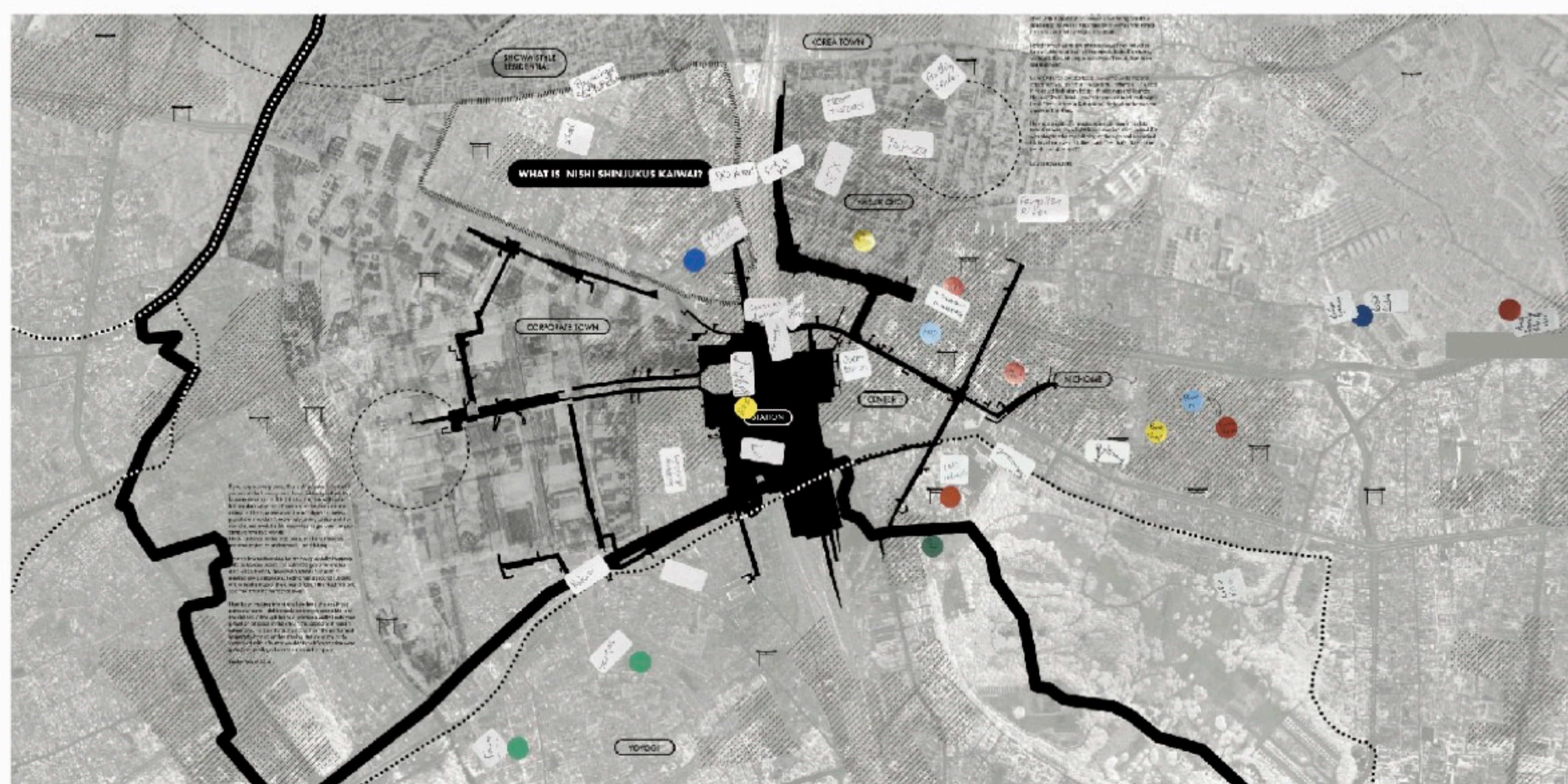
参加アーティスト

Anastasiya Hamaguchi 岩塚 一恵 金 咲淑 黄 綺樺

土井 健史 momoka_nakayama 森 有未



大きなガラス張りで外界の環境と融和するマルチパーパススペース A / B / Cでは「環境と身体」をテーマとした現代美術展示が行われます。光や風景、建築構造等、スペース内外の環境の調和を、インタラクティブアートを中心とした多彩な作品群によって生み出してゆきます。



Urban / Body

マルチパーパススペース D

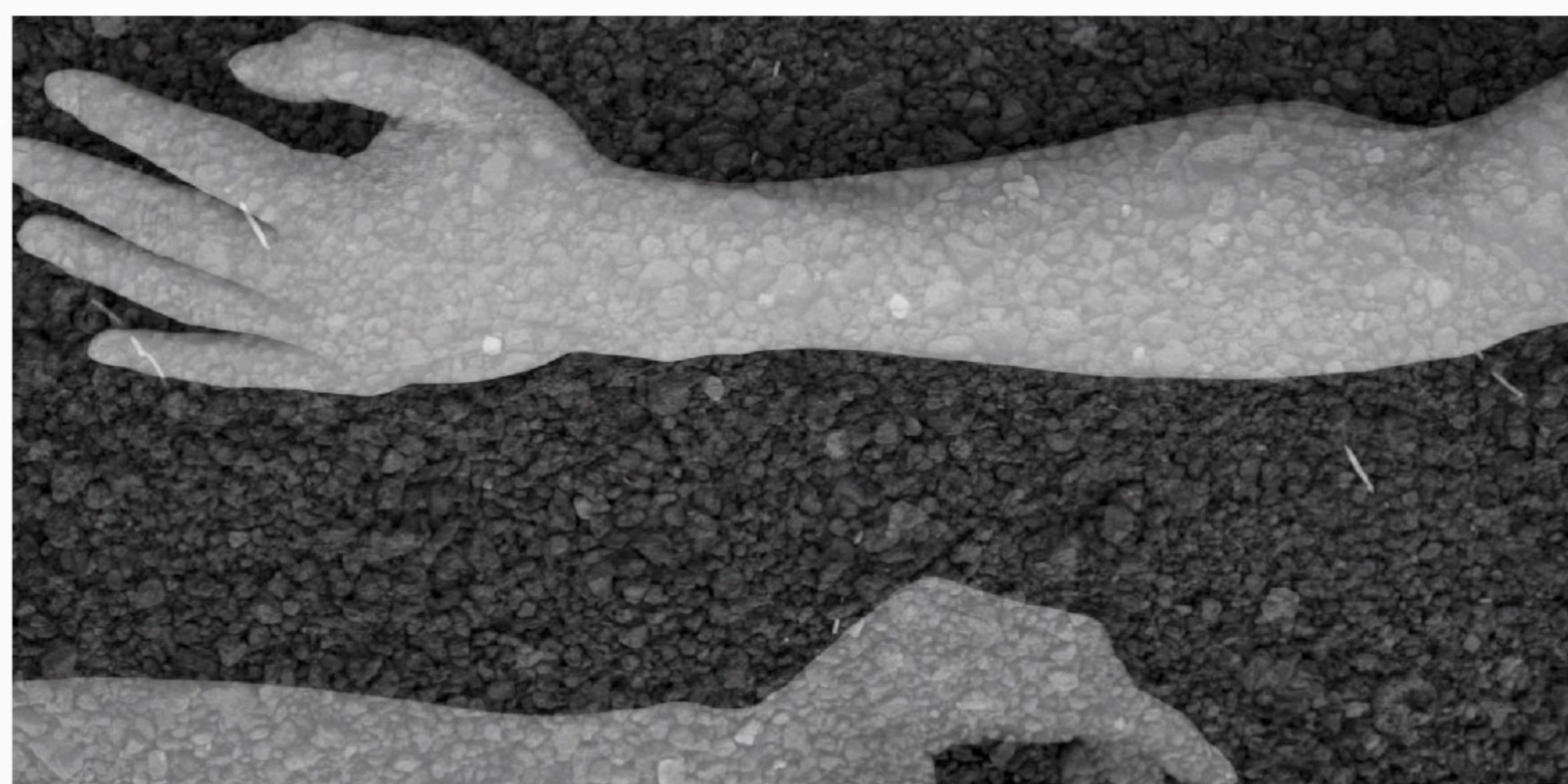
「Urban / Body」

参加アーティスト

Pino Heye



ドイツ人作家・アーバニストであるPino Heyeによる、都市計画を基としたアーバンデザインリサーチプロジェクトの成果展示。4月から8月にかけてフェスティバル開催エリアで市民参加型のリサーチワークショップを実施し、各エリアの都市構造や課題点等が広大なマッピングによって可視化されます。



Media / Body

市民ギャラリー

「Media / Body」

参加アーティスト

天草 ミオ スズキ タイト 平岡 真生 三浦 宏之



地下市民ギャラリーの静謐な空間特性を活かして「メディアと身体」をテーマとしたメディアアート展示を実施します。現代生活において欠くことのできなくなった様々なメディアと身体との関わりについて、インスタレーション展示によるアート体験を通して再考します。



Nature / Body

和室

「Nature / Body」

参加アーティスト

Barbara Khun Daniel Monsalve



和室では「自然と身体」をテーマとして、自然をテーマや素材として扱っているアーティスト2名による美術展示が開催されます。異なる国の文化風習によって培われてきた二人の視点や自然観と、日本建築様式である和室との共存から、多文化共生社会における自然の役割について考えてゆきます。

Asleep

～眠りについて～

a.c m-laboratory

Space / Body

小ホール

「Space / Body」

参加アーティスト

a.c m-laboratory

市松（身体） 上野悠河（美術・音楽） 上村なおか（身体） 菊沢将憲（身体）

船橋陽（音楽） 丸山武彦（照明） 三浦宏之（コンセプト・空間構成） 宮本悠加（身体）



今年初めての展示開催となる小ホールでは「空間と身体」をテーマとし、アートコレクティブ a.c m-laboratory による美術・音楽・照明・身体・空間を融合させる大規模インスタレーション「Asleep ～眠りについて～」が展示上演されます。

タイトル「Asleep ～眠りについて～」は、全ての人々が日々繰り返している「眠り」をテーマとし、その共通体験から「起きること」（意識）と「眠ること」（無意識）の作品化を試みます。

会場となる小ホールに参加アーティストによる作品群がインストールされることによって、意識と無意識とが可視聴化され、鑑賞者はその曖昧な境界を体験することとなるでしょう。

5日間の会期中、同会場にて4名のパフォーマーと2名の音楽家の演奏、およびライティングによるパフォーマンス作品も上演されます。また、上記アーティストによるパフォーマンス上演に加えて、市民パフォーマンスの上演も予定しています。市民作品は7月～8月に継続して開催される市民参加によるクリエーションワークショップで製作されます。

Center line art festival Tokyo 2025 at Koganei International

MUSAKO ART GATE 2025

展示会期 2025年9月11日（木）～9月15日（月・祝）
Open 10:00 Close 21:00（最終日は 17:00 Close）

※下記パフォーマンス上演時は小ホールのみ展示鑑賞が入場止めとなります。
予めご了承ください。



小ホールパフォーマンス
「Asleep ～眠りについて～」

上演日程 9月12日（金）19:00～〈A〉
9月13日（土）14:00～〈C〉 / 19:00～〈A〉
9月14日（日）14:00～〈C〉 / 19:00～〈A〉
9月15日（月・祝）14:00～〈A〉
※開場は開演の20分前から

A = アーティストパフォーマンス上演
C = 市民パフォーマンス上演

料金 展示入場無料・予約不要

パフォーマンス入場料	A	一般前売	3000円 / 当日 3500円
		学生前売	2500円 / 当日 3000円
	C	一般前売	1500円 / 当日 2000円
		学生前売	1000円 / 当日 1500円
			（小学生以下は無料）

パフォーマンス予約 <https://claft.jp/ticket2025> （予約 Reservation QR）



For details in English, please visit the QR code for each program.